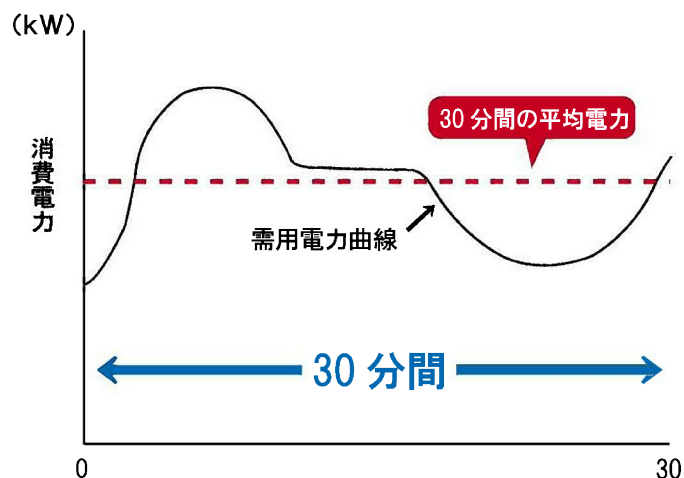


高圧電力契約の基本使用料の仕組み

■ 契約電力とは

最大需用電力にもとづく契約電力決定方式で、その月を含む過去1年間の最大需用電力のうち、一番大きい値とする。

■ デマンド（最大需要電力）とは



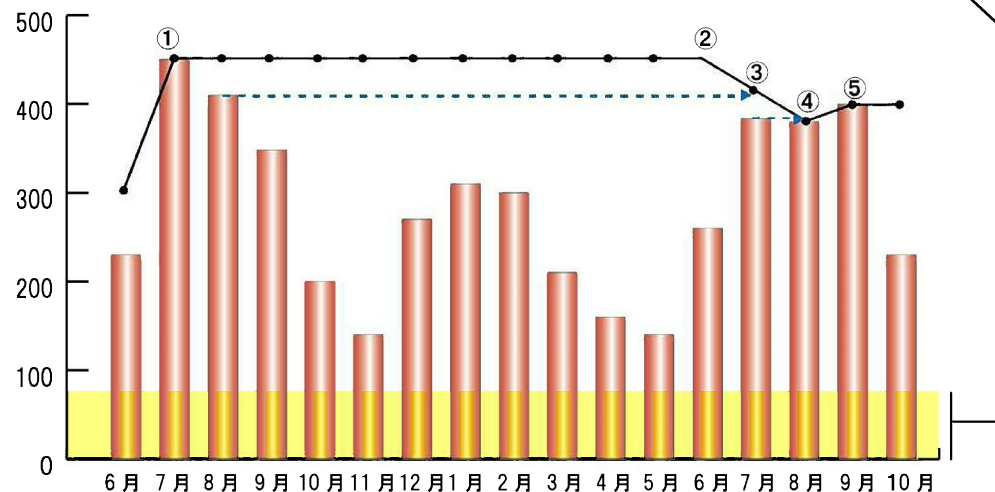
四国電力のメーターにて

30分毎に使用された電力の平均値を記録しており、この値をデマンドといいます。

使用電力の瞬間値ではなく、平均値ですので、30分間のうちの10分間に電力を多く使用しても残りの20分間に電力の使用量を抑えることでデマンドの抑制が可能です。

例えば

照明は年間を通じて一定の使用量であるため照明を更新すると単純にこれだけの基本使用料が下がります。



- ① 最大デマンドの発生により、1年間の契約電力が更新。
- ①→② 最大デマンドが1年間の基本使用量として適用される。
- ③ 1年間が過ぎ、過去1年における最大デマンドが次の契約電力となる。
- ④ 1年間が過ぎたため、再度契約電力が更新となる。
- ⑤ 最大デマンドが発生してしまったので、契約電力が更新。
(途中で最大デマンドを更新した際は、再度契約電力が更新される。)